

検視室内

無人環境 オゾンガス除染 設定CT値1000
脱臭効果検証
浮遊菌の検査結果

報告書

ご提案先	
試験場所	某警察署検視室
試験項目	脱臭テスト(ニオイセンサーによるにおいの強弱数値検証) 殺菌テスト(RCSエアサンプラーによる室内浮遊菌数測定)
試験実施日	平成29年●月●日 9:30～
お立ち会い職員様	鑑識課 検視第●係 係長 匿名 警部 匿名 警部補
提案会社	株式会社タムラテコ
代表	田村 耕三
担当	BT-1事業部 肉倉
技術責任者	本社 技術開発部 福田

※本試験は ISO13485 の承認基準に準じ実施されております

平成29年●月●日に行いました検視室内脱臭効果検証及び浮遊菌の検査結果について、下記の通りご報告申し上げます。

- 1: 某警察署検視室
- 2: オゾンガス発生装置
BT-088 CT値測定装置付(株式会社タムラテコ製)
- 3: 採取方法
脱臭テスト 使用機器
ポータブル型ニオイセンサXP-329m(新コスモス電機株式会社製)
浮遊菌 使用機器
RCSエアースンプラー 4分 160L(Biotest-Serum-Institut GmbH 製)
- 4: 採取菌種
室内浮遊菌 一般細菌

部屋の体積約200㎡

遺体用冷蔵庫

ご遺体

菌採取場所

オゾンガス発生器
BT-088

物入れ

検査方法と実施写真

脱臭効果
検証開始

AM9:35

オゾンガス噴霧前の臭いを測定
においの強弱数値 153



オゾンガス
噴霧開始

AM9:49

オゾンガス発生装置BT-088
設定CT値1000
オゾン濃度レベル3(MAX)



オゾンガス
噴霧停止

PM12:28

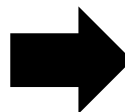
CT値300
噴霧時間 2時間33分
停止時オゾンガス濃度2.15ppm



脱臭効果テスト ニオイセンサーによるにおいの強弱数値検証

PM12:28

オゾンガス噴霧前の臭いを測定
においの強弱数値 153



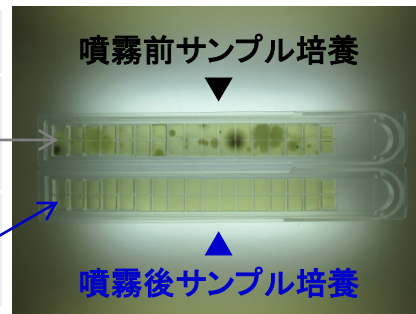
ニオイセンサー数値は0(ほぼ無臭)

浮遊菌の殺菌検証結果

オゾンガス噴霧前と噴霧後
エアサンプラーにて検視室の
空気を160ℓ採取して菌の
コロニー数を計測



採取日	採取箇所	菌種	コロニー数	備考
H29 ●/●	検視室	一般菌	38個	オゾンガス 噴霧前
		一般菌	0個	オゾンガス 噴霧後



試験結果考察

現在日本においては空気清浄度に関する法令基準がありません
弊社ではNASAの定めた規準を準用し、環境管理を行うことが望ましいと考えます。

今回のテストではオゾン除染のCT300での結果となりました。

脱臭効果は、ニオイセンサーの数値150が0になりました。

また人の感覚としては、綾瀬警察署ご担当者様からも今までとは違い
すっきりしていると、効果を認めて頂きました。

菌検査については、左記資料クリーンルームのクラス100のレベルになっております。
ウイルスは菌より弱い為、ウイルスも不活性化しているといえます。

清浄度 クラス	微生物						
	NASA規準 (個/ft³)	L換算 (個/L)	RCSIによる測定				
			30秒 (個/20L)	1分 (個/40L)	2分 (個/80L)	4分 (個/160L)	8分 (個/320L)
クラス 100	0.1>	.0035>	0 (0.07)	0 (0.14)	0 (0.28)	0~1> (0.56)	1> (1.12)
クラス 10,000	0.5>	0.0176>	0 (0.352)	1> (0.70)	1~2> (1.40)	3> (2.81)	6> (5.63)
クラス 100,000	2.5>	0.0884>	1~2> (1.768)	3~4> (3.53)	7> (7.07)	14> (14.14)	28> (28.28)

本データシートの一部または全部を当社に無断で、転載または複製する事を禁止します。